

## VISTA 8 ユーザーレポート

RKB 毎日放送株式会社 様

VISTA 8

T1 サブのメインコンソールに VISTA 8 を導入



■ T1 スタジオ・サブ



RKB 毎日放送株式会社  
技術局 制作技術部  
兼田 朋典

### 地上波デジタル放送対応に

2006年7月1日より開始したRKBの地上波デジタル放送のために、運用10年が経過し老朽化が目立ちはじめたT1サブを、映像のHD化そして音声をサラウンド対応に改修しました。

T1サブはワイド番組、音楽収録をはじめ、野球・ゴルフ・駅伝・柔道等のスポーツ中継、どんたく・博多祇園山笠などの大規模イベント中継と、ほぼ全ての番組を制作します。当該サブの仕上がりが今後のRKBの制作番組の基準となるため慎重に各種検討を重ねてきました。

やりたいようにやれること。これがなにより重要です。T1サブの使用方法は多岐にわたるため様々な組み替えに柔軟に対応できなければいけません。以前のアナログ卓は特注機能に縛られかえって使用しにくい場面があったので、なるべく標準機能だけで仕様を満足でき、また導入後も自分の好みや用途に合わせて卓の入出力やバスなどの仕様を自由に変更可能な物を探しました。それが将来の拡張にも柔軟に対応できることを意味します。そして使い方が簡単なこと。経験の少ないオペレーターでもストレスなく操作が可能なことはとても重要です。もちろん音質の良さや安定度の高さは言うまでもありません。以上の点からVISTA 8の導入を決定しました。



■音質と機能を両立したモニター棚



■マシンルーム内音声ラックにデジタル回線を集約



■Ls/Rsスピーカーは昇降式



■モニター棚下ラックのSTUDER ADAユニット



■N-1Sender & TEL HYB/INCOM回線切替ユニット



■カスタムパネル

#### 工事のポイント

機器を入れ換えるにあたり一番問題になったのは、スピーカーをどの位置に何本設置するかということです。ステレオ制作とは比較にならないほど音像、音量、音質がシビアになるサラウンド制作のための繊細なモニター環境を実現させるためには、使用する度にスピーカーを設置する方法ではそれだけで莫大な手間と時間がかかってしまいます。少しでも制作者の負担を減らすため、また、予め環境が整っていれば不案内な者でも気軽にサラウンド音声に親しむことができるため、絶対条件としてサラウンドモニターの常設を行うこととしました。しかし現状のラック配置ではスピーカー設置に大きな制約を受ける上に、新機材も収まりきれないことが判明したので、TVモニター、スピーカー、システム機器ラックを一体化したモニター棚を新設することになりました。

た。おかげでVISTAとの一体感が生まれ、機能的にもデザイン的にも非常にまとまりのある空間が完成、いつまでも座っていきたく気分になります。

#### フル活動中

導入後半年が経ちましたが、トラブルもなく順調にOAを続けています。初めて触るデジタル卓に心配顔だったオペレーター達も、とりあえず目の前に広がるスイッチを扱えば欲しい機能が操作できてしまうため、特別な説明がなくてもあっという間に使いこなしてしまいました。操作に気を取られず制作に集中できるのは、何より大切な機能ではないでしょうか。VISTAから送り出される鮮やかな音、そして卓面から放たれる鮮やかな光には、つい触りたくなる高揚感を感じます。これからもこの卓と共に良い音を発信し続けていきたいと思ひます。



■カメラケーブルで運用できるステージボックス